

令和5年度環境影響評価審査会(第2回)の質疑応答概要

環境立県推進課

■「資料1 第1回審査会における質疑等概要」に対する質疑

【大気質、騒音・低周波音、振動】

No.	質問・意見概要	審査会における事業者の回答
1	<p>海岸植生、砂丘植生等の重要性を考えると、これほど大きな構造物が立つと、飛砂の蓄積具合も極端になっていく。構造物のそばにたまたまりするようなことがあるのではと思う。</p> <p>北栄町の既設風車について、今までそういうことはあったのか。最終的には砂丘の地形の変化は起きたかお伺いしたい。</p>	<p>砂丘の地形が現在9基ある北条砂丘風力発電所の既存風車で影響があったかということについては、今までそういう状況は確認されていない。</p> <p>【北栄町】</p>

■「資料2 第1回審査会後の委員及び県、市町からの意見・確認と事業者の見解」に対する質疑

【大気質、騒音・低周波音、振動】

No.	質問・意見概要	審査会における事業者の回答
1	<p>2 ページ騒音関係の問2に関連して、現状、工事が行われている山陰自動車道のアセスメント結果を入手いただき、それに基づいていろいろ騒音予測を行っていただけたということ。それはよいことだと認識したが、具体的に今度は環境騒音とか残留騒音を調査される時期に対して、道路の建設状況が変わっていくことになる。工事の状況について、どんな機械を運転しているかとか、かなり状況が変わっていくので、それを踏まえて、どの時点で調査を行って、その結果どういふ補正をして、最終的なアセスメントにつなげていくのかということはいかかなり難しいと思う。</p> <p>今からやれる範囲のことしかできないとは思いますが、それを十分検討し、準備書の段階で、この時期にこういう計測をして、それをどのような形で補正を加えて、最終予測を行ったという結果等を整理していただければと思う。</p> <p>特に今回は既存の風車が運転中か停止中か、高速道路建設で建設機械が動いているか止まっているか、道路がどのあたりまで完成しているか完成してないか、とか、そのあたりによってかなり環境騒音というか、暗騒音が変わってくると思う。いろいろと考えていただければと思う。</p> <p>それで、なるべくシンプルな補正でもって、現状の把握と最終的な予測ができる時期を選んで調査いただきたい。</p>	<p>ご意見の通り、現地は今まさに現在進行形で工事中のため、非常に難しいと考えているところ。</p> <p>国交省と協議を行い、可能な範囲で環境影響評価のデータを入手するよう努めるとともに、できれば工事の情報等もいただきながら調査を実施していくことを考えている。</p> <p>併せて現地調査の時に工事状況を現地で確認しながら、建設機械の稼働状況を把握して、可能な範囲で事前に想定できるところは想定しつつ、現地調査の結果を見ながら補正の設定や予測方法を検討していくということも出てくると思う。</p> <p>いただいた意見を踏まえて、いろいろなことやりすぎて説明がわからないということにならないよう、適切な予測を行うよう努めていきたい。</p> <p>【事業者】</p>

【動物、植物、生態系】

No.	質問・意見概要	審査会における事業者の回答
1	<p>動物・植物・生態系の3番について、基礎調査の調査場所は、既存の松がすでに防風飛砂防止効果として発現しているため、そういったものの影響がない河川の開口部であるとかでの調査をお願いしたい。その際は手戻りが無いように調査箇所はご相談いただきたい。</p>	<p>森林づくり推進課様へ相談しながら今後進めて検討していきたい。飛砂調査についても、今後調査が必要な場合に相談しながら調整させていただきたい。</p> <p>【事業者】</p>
2	<p>3番のその他参考の質問、意見において保安林内作業許可について記載している。運搬計画が書かれているが、保安林内で風車の基礎部であるとか作業ヤード、資材運搬路を設置するときには、一般国道から既存道路を利用して最終的に</p>	<p>—</p>

	保安林である松林を通過して、海浜部や砂浜に入られると思う。そういった場合に保安林内作業許可の基準に適合している必要がある。面積的なものだけでなく、保安林の機能をきちんと果たせるかどうかということを含め、代替施設など検討いただきたい。	
3	<p>作業許可完了後には植栽を行っていただく必要があるが、林野庁からの情報提供で標準伐期齢に達するまで次の伐採はできないため困っているケースがあるとのこと。</p> <p>市町村森林整備計画で決まっていると思うが、松であれば30年から35年まで伐れない。となると、それによって風車のメンテナンスに支障が生じる可能性がある。おそらく20年後には大きなメンテナンスがあり、それまでもメンテナンスというものがあると思う。その際に作業ヤードや資材運搬路などが必要になってくると思うが、風車を設置する際に一度作業許可を経て完了して植栽した場所は30年から35年は伐れない。</p> <p>そこでお困りなるケースが全国的に発生している様子。事業期間終了後というのが20年後になるのでそのときの状況で検討されるとあるが、保安林については今後のメンテナンスを見据えてきちんと場所の検討をしていただきたい。</p>	—
4	<p>動物・植物・生態系 2番で保安林上空にブレードが掛かってもよいのかという質問について。現在の松の樹高が、おそらく一番高いところで15メートル程度であると思うが松の成長を考慮して、ブレード高さを検討していただく必要があると思う。</p> <p>松とブレードの離隔距離を確保するためには松を伐採する必要が生じてくるのではないかと思う。そうした場合には、森林法の第34条の伐採許可というものが必要になるが、こちらも先ほど申した通り、繰り返しの離隔距離の確保のための伐採が必要になる場合は標準伐期齢30年から35年は伐れない。このこともご承知おきいただきたい。</p>	<p>期待樹高も含めて、ブレードの範囲やどう影響するのかということ、今後確認しながらまた相談し、検討していきたい。</p> <p>【事業者】</p>

【その他】

No.	質問・意見概要	審査会における事業者の回答
1	<p>その他の2番について、質問の意図として、海岸については、都道府県や市町村の意見ではなく、国交省の法制度によって規制の対象になる。その中では海岸保全区域はともかく、近隣の民有地の立体的な規制の対象があり、今回海岸改変の可能性があると、現在の法制度上は改変できる可能性がない状況。</p> <p>例えば今後特区的な取り扱いのような特例措置的な取り扱いについて、国交省と協議する予定があれば、公開できる範囲でご教示いただきたい。</p>	<p>海岸法との関係で建設できるかどうかは、これから国交省を含めた関係機関と協議していく予定。協議の中で立てられる、立てられない、どんなことだったら立てられるということを確認していく予定。</p> <p>【事業者】</p>
2	<p>その他の8番について、補足説明の中に海浜は改変しないというお話が第1回審査会であったが、今日の説明では、海浜について改変する可能性があるという訂正があった。</p> <p>我々が気にしているのは、海浜に対する影響があるのではないかという点。山陰地方では、島根県の江津市の砂浜に、基礎がもろに砂浜の中に立って、8基ぐらい乱立している。</p> <p>北条砂丘の沿岸の砂は一級河川天神川から発生して西側に流れてきている沿岸漂砂の区域のため、今回の事業の区</p>	<p>具体的な位置については、環境影響評価調査の結果、許可の協議等も含めて、具体的に決定していく予定。</p> <p>位置が決まるまたはその前の段階で関係機関へ協議するのでご相談に乗っていただければと思います。</p> <p>【事業者】</p>

	<p>域内でそのように海浜に風車が建設されると、基礎から漂砂の下手側(西側)のほうに影響が起ってくるであろうと考えている。</p> <p>従って、具体的にどの位置に建設するのかというのを明確にしていきたい。また、沿岸漂砂、砂浜の変形に関してしっかりとした検討をお願いしたい。</p>	
3	<p>気候変動の状況の中で海面上昇というのは世界的にも言われている。鳥取沿岸でも言われておまして、これから先、世界中で頑張ったとして、2100年時点の海面上昇量は現状から42センチプラスということが予想されており、逆にCO2の削減が計画通り進まなかったらもっと海面上昇が進み、砂浜も消失していく。</p> <p>基礎に対する影響や砂浜の面積の確保などに影響が生じると思うので、そのあたりもしっかり検討をお願いしたい。</p>	<p>海浜への影響また海水面への影響についてもしっかりと考慮できるように今後検討していきたい。</p> <p>【事業者】</p>
4	<p>6ページのその他の2番について、飛砂の問題、海岸漂砂の問題があると思う。ちょうど海岸の中に北条川放水路という河川があるので、海岸と河川の河口部は一体不可分だと思っている。なので、海岸、河川についても検討なり配慮が必要と申し添える。</p>	—
5	<p>6ページ4番目の回答の中で、設置により地表付近の風速・風向の大きな変化は生じないとある。機種選定にあたっては検討するとあるが、機種選定というより位置の選定のほうが大きなものを作る場合には影響があるのではと考える。</p> <p>機種よりも、その位置、規模について配慮いただきたい。</p>	<p>位置の選定については、調査結果を踏まえて、また許認可の協議も踏まえて、今後具体化していく予定。</p> <p>河川等々影響が懸念される場合には、許認可等の中で、ご相談していきたい。</p> <p>【事業者】</p>
6	<p>6ページ5番目について、落雷は一つの要因であって、倒壊した場合どうなるのかということ。例えば、県内でも西の方で落雷によってブレードが落ちたというようなことがあったと思う。かなりの影響範囲が大きかったように記憶している。</p> <p>そのようなこともあるので、海岸保全区域、それから保安林、道路どこをとっても、手狭というか、なかなか選定場所に苦慮されると思うが、その影響というのは大きいのではないかと考えている。</p>	—
7	<p>4ページ水質・底質・地下水の間1について、工事に伴う排水の記載があるが、この水質監視について、工事の対策として排水対策を行うのは当然かなと思いますが、その前後を含めた周辺環境の監視というのは必要ではないかと思えます。</p> <p>地下水の水位、水質、その水量、地下水水位が変わって必要な水量が取れなくなる等といったことも含めて検討なり、監視が必要ではないか。</p>	<p>水質については風力発電施設では、通常、工事の際の影響を対象にしていることがほとんどなので、今回は工事上の配慮ということで記載した。</p> <p>風車を立てることそのものの工事以外の影響、水質あるいは水位等への影響がアセスの調査項目に入っていないのは、そういった影響が他事業で一般的にみられていないということで、今回項目に入れていない。</p> <p>今後、事業計画策定の検討にあたって、設置する位置でのボーリング調査等も行っていきますので、その結果から可能な範囲で検討していきたい。</p> <p>影響が生じる可能性がある場合は、そういった調査等も必要に応じて検討していきたい。</p>

■「資料3 一般意見に対する事業者の見解」に対する質疑

No.	質問・意見概要	審査会における事業者の回答
1	<p>一般からの意見の中で、ブレードからの落氷、落雪という意見があるが、実際にこのような被害はこれまで日本全国であったのか。鳥取でもあったのか。</p> <p>また、その対策として、ブレードを温めて雪を溶かす等の効果を持たせるなどは考えられるか。</p>	<p>日本全国でブレードからの落氷落雪があったかと言うと、そういうことはある。</p> <p>その対策としては、ブレードが凍っているかどうかを判定されるようにセンサーを付けたり、ブレードを温めるというものもある。現在は風車の機種を選定を行っている段階なので、各メーカー各機種によってどのような対策ができるか、それがはっきりした時点でまたお知らせできると思う。</p> <p>【事業者】</p>
2	<p>今回の意見書を拝見しますと、具体的な数字を求める意見が多いにもかかわらず、曖昧な回答に終わっていて、これは意見を出した方の理解がえられないし、不信感も高まると思う。</p> <p>例えば、6ページ7ページにある質問では、具体的な数字で教えてくださいと言われている。確かにいろんな状況が想定され、かなり振幅があるかと思うが、最短でどのぐらい最長でどのぐらいという具体的な数字をあげたほうが誠実な対応といえるのではないか。</p>	<p>復旧までの日数については、設置する機種がこれからの検討になるため、機種、風車の部品の供給状況、建設機械等々の供給状況についても、いづれぐらい、どの時期にどれぐらいの期間で入手できるか、は想定できないところもあるため、具体的ではない回答になってしまっている。</p> <p>今後機種選定等々を経て具体的にになったらある程度の幅でお示しできるように、検討して参りたい。</p>
3	<p>機種選定もまだのため具体的なことが示せないことは承知しているが、例えばこの機種であればこのぐらいとか、こういう場合だったらこのぐらいで復旧できると見込んでいる、というような何かしら具体的な数字を上げていかないと、納得されないと思う。</p>	<p>もちろん具体的な数字をあげた方がよいと考えていたが、例えば大型クレーンの手配状況についても、全国でそんなに機種、体制があるものではないため、建設期間に入っていればそこで使えなくなってしまう。こちらはその時の状況によって相当違うことも考えられる。</p> <p>今段階で作り上げた数字を上げるまでには至らなかったが今後検討して参りたい。</p>
4	<p>これまでにあった他社を含めた事例で、事故時の対応に要する期間は大体この程度と示すことは難しいか。</p>	<p>我々の持っている機種も今は小さめの機種を所有していて、今計画している4メガ以上の機種のパターンも去年4月以降の設置なので、今はまだそういった大型機種の修繕というものの事例がない。今後、そういった修繕が必要など出てきたら、お答えできると思うが、現時点で想定しづらいのが現状。</p>
5	<p>いずれにしても、住民の皆さん不安を抱えておられる方が多いと思う。今後説明会を開催されると思うが、その際には丁寧な説明をお願いしたい。</p>	<p>—</p>